脱炭素先行地域
山口県下関市

下関市環境基本計画の原案について

令和８年度第４回下関市環境審議会
令和８年１１月１１日

1　今回の審議について

　前回の審議会でご審議いただいた計画素案について、委員の皆様からのご意見を踏まえた修正や、指標の具体化等を行い、計画原案として取りまとめました。

■今回、特にご審議いただきたい事項

① 前回審議会の御意見への対応

（資料２「第３回環境審議会意見対応一覧」）

② KGI・KPIの設定内容

（資料３「指標設定整理表」）

　また、市民・事業者にとって分かりやすい計画とするため、文章の精選・簡素化や、各分野における「私たちにできること」の追加など、計画全体の見直しを行っています。

2　前回審議会のご意見への対応

前回の審議会では、指標の設定や評価方法、個別計画との役割分担などについて、ご意見をいただきました。主な対応は次のとおりです。

主なご意見・論点	原案での対応
KGI・KPIだけで評価できるか	活動指標や関連データ等も参考にし、総合的に評価することを明記
KPIと主要な施策の関係	KPIは施策の方向性全体の進捗を代表して把握する指標であることを明確化
地球環境・循環型社会と個別計画の役割分担	本計画では基本的な方向性を示し、具体的な取組・指標・進行管理は個別計画を中心に推進
庁内各部局に対する指針	各分野の施策を環境の視点から推進するための指針として位置付け

▶ その他のご意見への対応は、資料２に整理しています。

3　計画原案の主な見直し

市民・事業者にとって分かりやすく、環境配慮行動につながる計画とするため、記載内容や構成を見直しました。

1 文章の精選・簡素化

・重複する説明や詳細な記述を整理し、計画の基本的な方向性が伝わるよう、文章量を削減しました。

2 計画の構成・表示の整理

・各分野と基本目標の対応を分かりやすく示すとともに、施策体系や指標体系を整理しました。

3 「私たちにできること」の追加

・各分野に、市民・事業者が日常生活や事業活動の中で取り組める行動例を掲載しました。

▶ 参照：資料１　第３章・第４章

4　指標設定の考え方

今回の原案では、KGI・KPIの現状値・目標値及び設定根拠等を整理しました。

指標設定に当たっての基本的な考え方

指標の目的	計画本体では、各指標により何を把握するのかを説明
現状値の算出	アンケート調査や行政統計等に基づき算出
目標値の設定	アンケート結果、過去の実績、関連計画の目標値等を踏まえて設定
今後の進行管理	指標設定整理表に算出方法や設定根拠を整理し、継続的な把握に活用

アンケートを用いた指標の目標設定

- **満足度を用いる指標**：「やや不満」と回答した市民が満足側に転じることを目指して設定
- **実施率を用いる指標**：「実施していく予定」と回答した市民が、実際の参加・実践につながることを目指して設定

▶ 参照：資料３

5　ＫＧＩの設定状況（成果指標）

分　野	指標名	現状値	目標値
自然環境	自然環境にふれる機会に満足している市民の割合	31.7%	46.9%（R18）
生活環境	生活環境が良好だと感じる市民の割合	32.4%	49.7%（R18）
地球環境	温室効果ガス排出量	2,234千t-CO2	1,931千t-CO2（R14）
循環型社会	市民１人１日当たりのごみ排出量	994g/人・日	980g/人・日（R9）
環境基盤施策	環境に配慮した行動を実践している市民の割合	56.1%	63.5%（R18）

※ 地球環境及び循環型社会の目標値は、関連する個別計画等との整合を図って設定しています。

▶ 参照：資料１　第４章

6　ＫＰＩの設定状況（進捗・行動指標）

自然環境・生活環境・環境基盤施策の各分野について、施策の方向性ごとにKPIを設定し、現状値・目標値を整理しています。

分　野	指標名（施策の方向性）
自然環境	・自然環境保全活動に参加したことがある市民の割合（生物多様性の保全） ・自然体験活動参加者数（自然とのふれあい・活用の推進） ・自然環境の維持管理に関する指標（自然環境の維持管理）
生活環境	・環境基準達成率（公害のない生活環境の確保） ・身近な生活環境が適切に管理されていると感じる市民の割合（健康で快適な生活環境づくり） ・環境美化活動に取り組む団体数（環境美化の推進）
環境基盤施策	・環境教育・環境学習への参加者数（環境教育・環境学習の推進） ・環境活動に参加した市民の割合（多様な主体との連携・協働） ・環境配慮行動優良事業者数（環境配慮行動を支える基盤づくり）

※ 具体的な指標の設定内容や算出方法については、資料３に示しています。

▶ 参照：資料１　第４章、資料３

7　未確定事項

現在、庁内照会、調整中の指標

- 自然体験活動参加者数（現状値・目標値）
- 自然環境の維持管理に関するKPI
- 環境教育・環境学習への参加者数（現状値・目標値）

これらについては、令和８年11月19日から
実施予定のパブリックコメントまでに確定し、
計画原案に反映する予定です。

8　今後の予定

時　期	内　容
令和８年11月19日～	パブリックコメント
令和９年１月下旬	**第５回環境審議会** （パブリックコメント反映案・答申案の審議）
令和９年２月	**答申（予定）**

アクションプランについては、現在、関係課と調整を進めており、別途内容を整理する予定です。